

キャリア教育充実のために ～効果測定とプログラム作成～

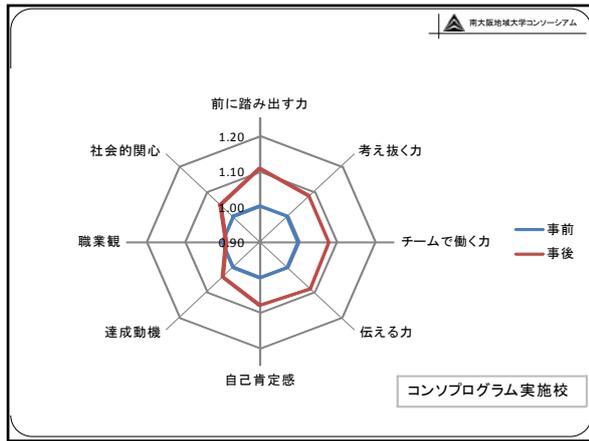
2010年8月5日(木) 13:00-17:00



南大阪地域大学コンソーシアム
キャリア教育コーディネータ 黒木 淳



キャリア教育プログラムの 効果を測定



効果測定指標

- ①社会人基礎力(12)
 - ②文科省4能力8領域(8)
 - ③PISA型
 - ④実践の中で見出される変容
- ①～④を統合し、
4領域15項目に設定

※南大阪地域大学コンソーシアム
キャリア教育プロジェクト研究会報告書
Education for the future, 2007年、参照。

効果項目名	説明
1 主体性	人から買われるのではなく、やらねえといけないことを見つけて、自分から進んで取り組む力
2 働きかけ力	目標を達成するために周りの人に呼びかけが一顧に行動する力
3 実行力	言われたことをやるだけでなく、自分で目標を設定して、取り進んで行動する力
4 課題発見力	目標を達成するために解決すべき課題を見つける力
5 計画力	目標を達成するための方法ややるべきことの順番を考えて準備する力
6 判断力	解決すべき問題について、解決方法を工夫して考える力
7 情報収集力	自分に必要な情報や資料をさがし取り、選び出したりする力
8 傾聴力	人が話しやすい雰囲気をつくって、人の意見をきちんと理解して聞く力
9 柔軟性	自分の考えが押しにさらわれずに、自分とは違う考えや立場も尊重して理解しようとする力
10 状況把握力	グループの中で自分がどんな役割をすればよいかを理解する力
11 規律性	集団や社会生活の規則やルールを守って適切に行動できる力
12 職業理解力	学校で学んだことと体験したことを自分の生活や周りの人たちの仕事と結びつけて考える力
13 発信力	自分の考えをわかりやすく整理して、相手に理解してもらえるように伝える力
14 獲得力	自分の考えや意見を相手に納得するように伝える力
15 プレゼンテーション力	伝えたい情報をわかりやすくいかに工夫して伝える力

事前事後調査 アンケート①

あなたは、いま学校には今のようだがどのくらいあると思いますか?

1 人から買われるのではなく、やらねえといけないことを見つけて、自分から進んで取り組む力

2 目標を達成するために周りの人に呼びかけが一顧に行動する力

3 言われたことをやるだけでなく、自分で目標を設定して、取り進んで行動する力

4 目標を達成するために解決すべき課題を見つける力

5 目標を達成するための方法ややるべきことの順番を考えて準備する力

6 解決すべき問題について、解決方法を工夫して考える力

7 自分に必要な情報や資料をさがし取り、選び出したりする力

8 人が話しやすい雰囲気をつくって、人の意見をきちんと理解して聞く力

9 自分の考えが押しにさらわれずに、自分とは違う考えや立場も尊重して理解しようとする力

10 グループの中で自分がどんな役割をすればよいかを理解する力

11 集団や社会生活の規則やルールを守って適切に行動できる力

12 学校で学んだことと体験したことを自分の生活や周りの人たちの仕事と結びつけて考える力

13 自分の考えをわかりやすく整理して、相手に理解してもらえるように伝える力

14 自分の考えや意見を相手に納得するように伝える力

15 伝えたい情報をわかりやすくいかに工夫して伝える力

事前事後調査 アンケート②

あなたは、いまの自分の生活や仕事のことについてどのようになっていますか?

1 人から買われるのではなく、やらねえといけないことを見つけて、自分から進んで取り組む力

2 目標を達成するために周りの人に呼びかけが一顧に行動する力

3 言われたことをやるだけでなく、自分で目標を設定して、取り進んで行動する力

4 目標を達成するために解決すべき課題を見つける力

5 目標を達成するための方法ややるべきことの順番を考えて準備する力

6 解決すべき問題について、解決方法を工夫して考える力

7 自分に必要な情報や資料をさがし取り、選び出したりする力

8 人が話しやすい雰囲気をつくって、人の意見をきちんと理解して聞く力

9 自分の考えが押しにさらわれずに、自分とは違う考えや立場も尊重して理解しようとする力

10 グループの中で自分がどんな役割をすればよいかを理解する力

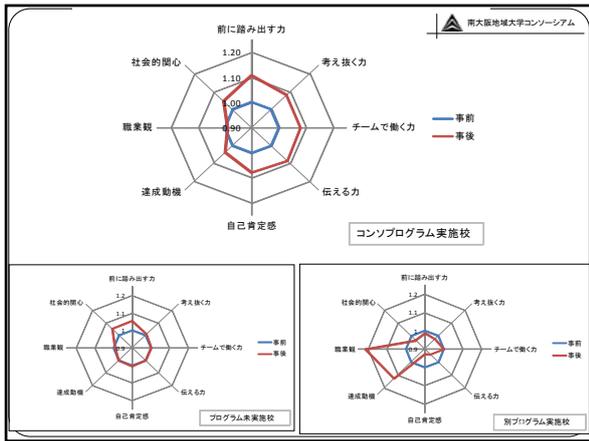
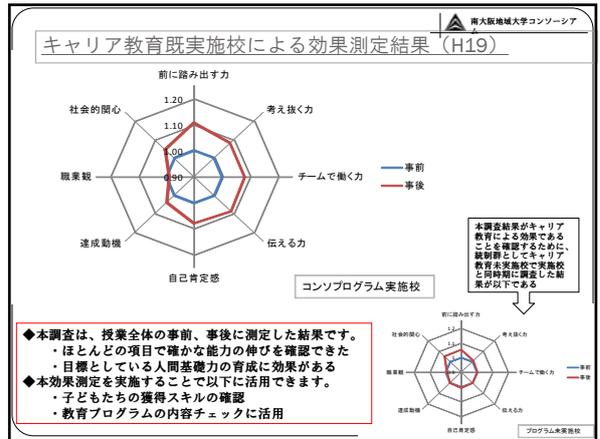
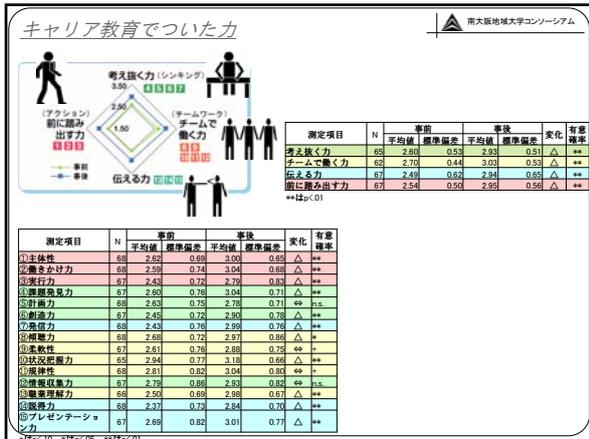
11 集団や社会生活の規則やルールを守って適切に行動できる力

12 学校で学んだことと体験したことを自分の生活や周りの人たちの仕事と結びつけて考える力

13 自分の考えをわかりやすく整理して、相手に理解してもらえるように伝える力

14 自分の考えや意見を相手に納得するように伝える力

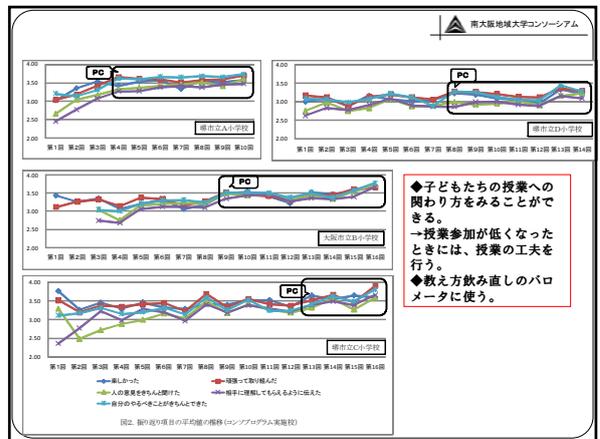
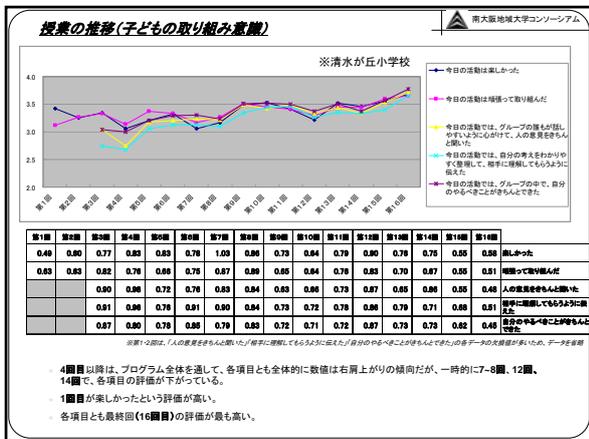
15 伝えたい情報をわかりやすくいかに工夫して伝える力



毎回調査

振り返りシート

- 今日の活動を楽しみました。
- 今日の活動は種類によって楽しんだ。
- 今日の活動では、グループの誰かが話しやすいように心がけて、人の意見をきちんと聞いた。
- 今日の活動では、自分の意見をわかりやすく表現して、相手に理解してもらいやすかった。
- 今日の活動では、グループの中で、自分の役割をこなすことができた。



南大阪地域大学コンソーシアム

学んだこと、教えたこと

↓

検証することが重要！！

南大阪地域大学コンソーシアム

効果測定を積極的に活用し、
その検証結果から**改善**し、
次の授業に活かしましょう！

↓

PDCAサイクルを組込んだ授業の実現

キャリア教育プログラムを考えよう！

(2) 多様なキャリア教育プログラム

多様なキャリアプログラム

課題解決型 企画提案 思考力、発想力、コミュニケーション力	インテリジェント型 働くことの大切さ、視点、コミュニケーション力、マナー	体験学習型 キッズマート 施設体験、マナー、実体験、プレゼンテーション
PR型 新聞、広告、CM 発想力、真実を活かす、ターゲット、目的を明確、表現力	自己分析・自己実現型 夢、将来目標、職業観、自己の気づき	教科型 教科知識活用、視点の明確化、思考力、発想力、表現
職場体験 働くことの大切さ、職業観、視点、マナー、実体験	外部講師型 本物、職業観、社会を知る	

キャリア教育で大切なこと

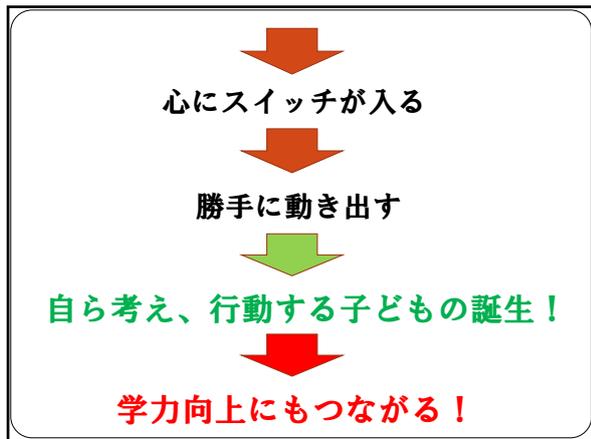
①目的
キャリア教育を通して、子どもたちがどうなっ
て欲しいですか？

②
しっかりと言語化する！
その
常に意識する！

③つきたい力
キャリア教育プログラムを通して、つきたい力
はなんですか？

キャリア教育プログラムの提案！

- ・本モノとの出会いがある
社会的リアリティが持ち込まれている
- ・社会的視点が入っている
人のため、社会のため、地球のため
- ・人の喜ぶ顔がイメージできる(ターゲットを明確化)
- ・「私ならこうする！」一人称で語るができるようになる
- ・働くことがリアリティをもって受け止めることができるようになる
- ・将来の夢を描けるようになる



プログラムを“見る”ポイント

- ①目的
どんな目的意識を持っているか？
- ②目的の原因や背景
なぜその目的が必要なのか？
- ③プログラムでつくスキル
どんな力が子どもたちにつくのか？
(効果の測定・検証)

③単元テーマを論拠や表現に活用するとよい教科<算数>

割合とグラフ (5年下)

- ・「自転車企画」についてキャリア教育を行う
- ・「自転車」について徹底分析
- ・自転車企画書づくりをおこなう
- ・切り口についてアンケート調査を行う
- ・アンケート結果から割合を出し、グラフにする：割合を出すとき100%に調整することを学ぶ。グラフの形を円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフなどの種類があることを学び、どれがよいか話し合う。
- ・企画書をパワーポイントにし、アンケート結果をグラフで表わす
- ・プレゼンテーションを行う

キャリア教育プログラムを考えよう！

プログラム作成のポイント

ポイント

①目的：
どんな子どもになってほしい？

②真の課題：
なぜその目的が必要？

③スキル：
つけたいスキルは何？

キャリア教育に必要なプログラム

- 考える力を
使いきるプログラム
- 協働が絶対に
必要なプログラム
- 社会とのつながりを
感じるプログラム
- 通常の教科教育に
つながるプログラム

企業や社会の
生の課題
を扱うプログラム

企業や社会の
ホンモ/を持ち込め！
ホンキを持ち込め！
ハードルを持ち込め！

**単なる見学や体験では
キャリア教育にはならない！**

キャリア教育プログラムを作ってみよう！

キャリア教育プログラムを作ってみよう！